

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	3年生
大学名	ノースカロライナ大学ウィルミントン校
国	アメリカ
留学期間	2018年8月15日 ~2019年1月13日
派遣先での身分	交換留学生(学部生)

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	授業
15:00	授業
16:00	授業
17:00	図書館で自習
18:00	図書館で自習
19:00	夕食
20:00	友人と過ごす
21:00	帰宅
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Introduction to Leadership	2	3	English	参加型授業、レポート、テスト
Introduction to Criminal Justice	3	3	English	講義型授業、レポート、テスト
English as a Second Language	2	3	English	参加型授業、レポート、テスト
Interpersonal Communication	2	3	English	講義型授業、レポート、テスト

大学のサポート	
チューターの有無	あり
チューターのサポート内容	連絡を取り合い、定期的に会う
語学コースの有無	なし
コース名、料金、期間等	なし

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	University Suite
部屋タイプ	Double Room
ルームメイト(国籍)	China
室内設備	机、椅子、ベッド、クローゼット、タンス、エアコン
共用施設	リビング、トイレ、バス、洗濯
インターネット設備	Free Wi-Fi
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩 キャンパス内で生活
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	J1
Visa申請先	大阪
Visa取得にかかった日数	約10日
Visa取得にかかった費用	約2万円
Visa取得方法、提出書類等	インターネットで申請し、大阪の大使館で面接
留学先大学の最寄り空港までの経路	車
渡航費用	約23万円
ピックアップサービスの有無	あり

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	なし
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2019年1月
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	\$1=¥110
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約5万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	約4万円
宿舍費(月額)	約6万円
光熱費(月額)	宿舍費に込み
食費(月額)	宿舍費に込み
その他	約2万円
留学期間中にかかった費用の合計	約90万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

わたしはアメリカのノースカロライナ大学ウィルミントン校に一学期間(約5ヶ月間)交換留学でいっていました。アメリカでは自分の専門に関連する授業に加えて、今3年生ということもあり今後の就職活動や社会人生活に役立ちそうな授業など、アメリカでしかとれないような授業を中心に受講してきました。向こうでは寮生活で、さらに授業も現地の生徒に交じって英語で授業を受けていたため、本当に英語に囲まれた生活でした。

到着して最初の頃は、まだまだ英語力も足りず、様々なことに困惑してばかりでした。日常生活では一人暮らしさえ初めてでした。さらに、授業も日本と比べて圧倒的に課題が多く、授業内でのグループワークや発表の機会がたくさんありました。慣れないことばかりの生活で、それをすべて英語で行うとなると、不安ばかりで心が折れてしまいそうになることも多々ありました。

しかし、毎日を過ごすうちに、寮のルームメイトたちや、クラスメイトたちと仲良くなっていくことができました。また、ホストファミリーという制度の登録していたため、素敵な家族の方と会うこともできました。途中ハリケーンが大学のある地域を襲い、一時はどうなることかと思いましたが、周りの人たちに助けられて、無事にエバキューション期間も乗り切ることができました。ハリケーンの影響もあって課題や授業が、例年以上にハードスケジュールになってしまいましたが、教授や周りの友達に助けをもらいながらもなんとかすべてをやりきることができたときには、今まで経験したことがないような達成感でした。

たくさんの素敵な出会いがわたしの留学生生活を実り多いものにしてくれました。最初は一番の課題だった英語力も、最後には、英語を学んでよかった、そのおかげで様々な人と交流することができた、と思えるようになりました。本当に成長しているのか不安に思うこともありましたが、今の自分と来てすぐの自分を比較してみたときに、この半年で語学力はもちろんですが、それだけではなくたくさんのものを得られたのだなと感じています。長いようであつという間の半年でしたが、わたしの大学生活の中で一番の大きな学びになりました。

今後留学する人へのアドバイス

半年という短い期間でしたが、とてもいい経験になりました。学校の授業やたくさんの課題はとても大変で、毎日をセカンドランゲージである英語で生活することは苦勞も多かったです。しかし、たくさんの素敵な人たちとの出会いや日本とはまた違うイベントなど楽しい生活を送ることができました。留学生活は、日本での大学生活とはまた違う素敵な経験ができるいい機会だと思います。一度社会人になってしまうと、やりたくてもなかなか海外に長期で滞在しにくくなってしまいます。興味がある人は是非積極的に挑戦してみることをおすすめします。留学が決まっている人は、海外での生活は楽しいことだけでなく苦勞も多いと思いますが、学生時代の留学はなかなかできない経験です。やりたいと思ったことにはチャレンジし、苦勞を乗り越えたとき、一回りも二回りも成長できるはずですよ。充実した留学生活にしてください。

報告書記入日

2019年1月20日